

逆川大作戦第5弾 水源から鴨川までを踏査

六月二十五日(土)、商工協会会員や聖学院大
学生十五名が、逆川の流域を調査しながら
歩きました。

今やコンクリートに囲まれ細々とした逆川
行政上は「下水」扱い。五十年前はウナギや
小魚がおり子供達の遊び場でもあり、生活
に密着した「まちの小川」であったと聞きま
す。文明の発達により、同様の運命を辿った
川や自然は数え切れません。しかし、このま
ま放置し、川として死なせてしまつていいの
だろうか。住民の手で何かできないかと考え
再度、自分たちの足で調べてみようというの
が今回の企画です。

今回は、埼玉県彩の国水すましクラブ「事
業から、水質調査キットや種々の備品の提供
を受けました。川の中や上から調査し、記録
をしながら、3キロほどを踏査しました。途
中ザリガニを捕まえている子供たちにも出会
えましたが、川との触れ合いはせいぜいこの
程度が現状です。五十年前には戻れずとも、
「私たちの逆川」と呼べることを願ひ、地域の
方々と共に「これから」も探つて行きます。

第1回さいたま北商工協同組合 通常総会報告

盛夏の候、地域の皆様方を始め、会員の皆
様におかれましては益々ご健勝にてご活躍の
こととお喜び申し上げます。平素より、さい
たま北商工協同組合の運営に格別のご指導
ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成二十二年六月二十四日創立總會
を開催し念願のさいたま北商工協同組合が

同年七月二十日に設立、平成二十三年五月
十八日には第1回通常総会を開催し全ての
議案が可決され設立時の役員も全員再選さ
れました。

また役員及び組合員のご尽力により、本
年三月三十一日に埼玉県で「例目となる経
済産業省所管の中小企業庁地域商店街活性
化法に基づく商店街活性化事業の認定を受
けることが出来ました。

この認定を踏まえ新年度事業として、空
き店舗活用事業を取り組みます。

子育て世代の母親や高齢者、
障害者などが気軽に立ち寄
れる憩いの場として、軽食サ
ービス・映画観賞会・地域や
会員店舗の情報発信や展示
の場として、各種サークル活
動、店舗の貸し出し(レンタル
ホール)等、様々な方々と「ミ
ニテーション」を育める場所と
して、店舗を組合が運営して
まいります。

またイベント事業では、毎年秋のイベント
を大きく膨らませ、グルメコンテストを取り
入れ、さいたまKITAまつり「2011」として
開催します。

しかし、今年は東日本大震災に見舞われ、
復興の遅れから、不自由なお思いをされてい
る方々がおられます。その様な現状を踏ま
え私たち組合員は、特に今年度事業に関して
震災復興を取り入れ、被災地域の方々と積
極的な交流促進に努め明るく元気なまちづ
くり活動に邁進してまいります。

さいたま北商工協同組合
理事長 赤間 正勝